みんなあつまろう　みんなで語ろう

いっぺかだれや　つうしん　vol.70

石狩市浜益区地域おこし協力隊通信　発行日：2023/10/01

寺山ファームの稲刈りに参加！

今月は寺山ファームで稲刈の作業に参加しました。機械の後ろを歩いて刈り残しがあれば手で刈って行きます。春から、苗の作業や田植えにも参加していたので、実りの秋の稲の収穫を肌で感じ、今後も一次産業に関わっていきたい気持ちを強くしました。

ユータだよ
地域おこし協力隊
井上 優太
0133-79-2029
r2010003@city.ishikari.hokkaido.jp

高校生に向けて講話をしてきました！

9 月 19 日に北海道札幌英藍高等学校の『総合的な探求の時間』で、社会への関わり方やその入り口は多様であること・移住という選択について・協力隊という働き方について等をお話してきました。学生の皆さんが、学校というコミュニティー以外の場でやってみたい事が見つかったときに、役に立ったらいいなぁと思いますし、なにかの縁で浜益で再会できたらとっても嬉しいです。待ってるよ～～！

そもそも

「はまますベース」って何じゃいな？

元々は助役さんが住んでいたそう。
現在は NPO 法人 ezorock さんが借りて、リフォームし、
滞在型活動拠点として利用している住宅です。

石狩市浜益区
地域おこし協力隊
多賀谷 綾乃（のすけ）

浜益に移住し、生活している人として
浜益ベースチームに関わっている。
建物の管理人さん的な事をやっている

関係人口

観光がメインの「交流人口」
移住・定住している「定住人口」
の間に位置する人たち。
多様な関わり方がある。

活動

はまますベース

NPO 法人
ezorock

「浜益ベースチーム」

浜益を活動拠点とし、関係人口創出を
目指すプロジェクトチーム。
普段は札幌で生活しているメンバーが
多い。

「EZO WOLF STORY」（エゾウルフストーリー）

北海道のエゾシカの皮を活用しながら、
エゾシカや北海道の自然、人との暮らし
や歴史について伝え、考えていくプ
ロジェクト。

このほかにも様々なプロジェクトチー
ムがあるが、浜益への出入りが多いの
はこの２つ。

サステナブル。でも、ガマンしない。

をコンセプトに建物の整備を行っています。
上記のような人々が『はまますベース』に滞在し、地域に関わりながら、活動をしたり、地域イベントのお手伝いに行ってみたり。宿泊ができるので、活動の幅が広がります。
先月まで行われていた「果樹園お手伝いプロジェクト」に参加したメンバーもここで寝泊りしていました。この先もどんどん進化していく予定です！

社会見学に行ってきました！

生きがいづくり学園の社会見学に同行させて頂きました！
資料館では昔の農機具や、衣料品などを見て皆さん大盛り上がり。「昔はよく手伝いをした」と言っている皆さんの話は、まだ機械なんて無い頃の浜益の暮らしを想像させてくれました。
みんな笑顔で楽しそうだったなぁ～
また来年もみなさんと行きたい！

＼涼しくなってうれしい！／

地域おこし協力隊
多賀谷 綾乃
0133-79-2029
r2304001@city.ishikari.hokkaido.jp